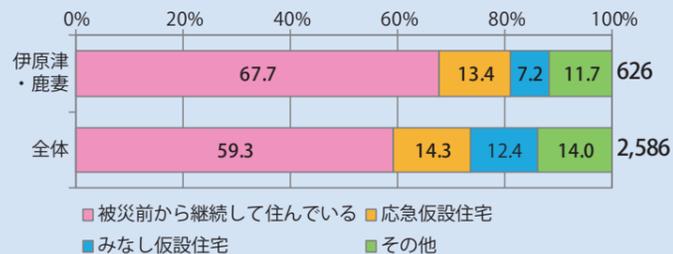


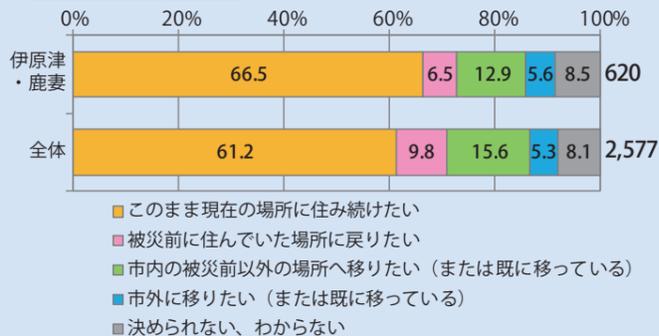
アンケート結果

平成25年12月から平成26年1月にかけて、被災時に東部地区にお住まいの約6,000世帯の方に、アンケートを実施しました。主な設問と結果は、次のとおりです。

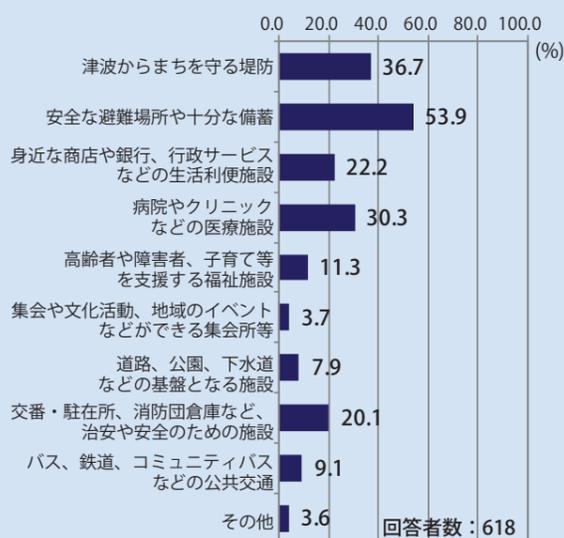
●現在のお住まい



●今後のお住まい



●住み続けるために重要と考えられる施設



●安心・安全のために有効と思う活動



今後の進め方

皆様からいただいた意見について、市では新たな財政措置が必要な課題や、より積極的に解決に取り組むべき案件などを整理・調整し、市としての方針や方向性のとりまとめを行いました。

それを、湊地区の町内会長連合会、渡波地区の行政区長会にてお示した後、市が策定する震災復興基本計画実施計画へ反映させるなど、具体化させていきたいと考えています。

お問い合わせ先

石巻市 復興政策部 地域協働課
 TEL：0225-95-1111(代表)
 FAX：0225-22-4995
 E-mail：iscviact@city.ishinomaki.lg.jp

皆さまのご意見をお待ちしています



東部地区復興まちづくり だより Vol.1

伊原津・鹿妻地区

伊原津 鹿妻第一・第二・第三

石巻市では現在、“どうすれば安心して暮らし続けることができるのか” “どうすれば仮設住宅等にお住まいの方々が戻ってこられるのか”をテーマとした東部地区*の復興まちづくりに、住民の皆さんとともに取り組んでいます。

その一環として、昨年の11月末から地区別に2度の意見交換会を開催しましたので、その結果をお知らせします。

*東部地区とは・・・
 旧北上川より東側の市街地のうち、津波による被害が大きく、かつ土地区画整理事業等の事業を行わない地区を指します。



平成26年8月
 石巻市 復興政策部 地域協働課

第1回意見交換会を開催しました【平成25年12月12日（水）会場：鹿妻コミュニティハウス 住民出席者：39人】

平成25年12月12日 鹿妻コミュニティハウスにて、伊原津・鹿妻・松並・緑町地区の合同意見交換会をとり行いました。主な意見：

- ・住民は早く戻ってきたいが今の状況では戻ってこれない。全ての復興事業をとにかく早く進めてほしい。
- ・コミュニティハウスで高齢者の集いなどやっている。そこには市の福祉関係の方が来られるが、インフラだけでなく、そういった取り組みもまちづくりに重要であるため、市役所は横の連携を持って、ソフト面も含めて情報を共有してほしい。
- ・鹿妻地区は行政区と中学校区が混在している。行政区及び中学校区の検討をしてほしい。
- ・鹿妻地区の人のための避難タワーを整備して欲しい。海に向かって避難タワーへ行く人はいない。
- ・県営住宅に避難できるように外階段を付けたり、備蓄できないか？
- ・人を呼び戻すためにも渡波中学校の開校をとにかく早くしてほしい。
- ・牧山に登る道路が狭いので、拡幅してほしい。また、牧山市民の森に直に行けるルートを整備したらよい。
- ・法山寺へ続く避難路の途中で車が停止しない等、避難時のルール作りをしてほしい。また、避難場所として指定してほしい。
- ・避難道路は、ネットワークとして計画しなければ意味がない。（水押し土手の整備、稲井に抜けた後など）
- ・国道398号の歩道の拡幅をしてほしい。
- ・区画内の道路が真っ暗なので電灯を付けてほしい。
- ・地区内の道路が凸凹なので、早く修繕してもらいたい。
- ・東西方向の幹線道路が少ない。渡波稲井線へ接続するルートを整備してほしい。
- ・交番、病院、学校が無いと人は戻ってこない。
- ・高盛土道路（門脇流留線）をまず優先的に整備してほしい。
- ・ヨークベニマル、ホームック、パチンコ店を避難場所として協定を結んでほしい。
- ・渡波稲井線のように稲井に抜ける道路がもう一本あってほしい。
- ・渡波小学校の子供たちが津波被害にあった場合を考えてほしい。
- ・菅原神社のところから、歩いて山に登れる避難路を整備したらよい。
- ・一方通行の道路を相互通行にしてもらいたい。
- ・規模が小さくても、避難タワーを密に配置してもらいたい。

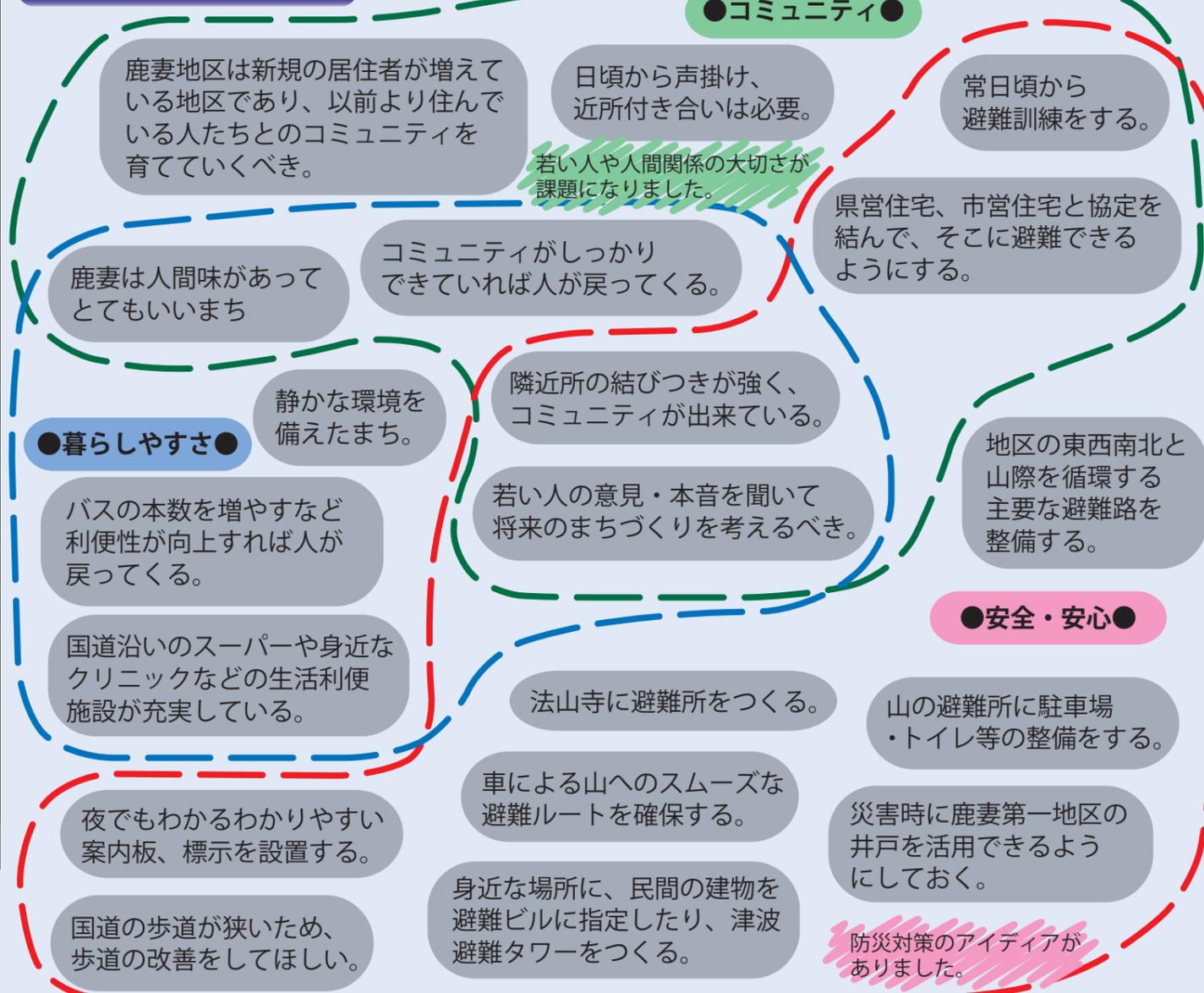


第2回意見交換会を開催しました【平成26年2月25日（火）会場：鹿妻コミュニティハウス 住民出席者：20人】

意見交換会の様子



話し合った主な意見



第2回意見交換会に参加した感想・意見等

- ・震災前の様に人口が戻るようにするためには、これからの若い世代の人達の意見を聞いた方が良いという意見があり、そのためにも安心して住めるまちづくりに必要な安全な避難場所施設を作ってほしいと思う。安心・安全な地域になれば自然に人口は増えるのかな？と思う。
- ・これまでいろいろな意見が出てきたが、行政からの答えは「検討します」これでは次に津波が来たら石巻はなくなってしまふ。できる事、早くにしてください。
- ・鹿妻は住みよいまち。欲しいのは郵便局、ヤマト屋等々。お年寄りがここに住んで良かったという声が出るまちを希望する。友達もいるし、人間性も良いので、少しでも早く若い人もさそって鹿妻に帰ってきてほしい。
- ・まちづくり、ハード・ソフト両面作戦が必要。24時間で考える。住民には見えないこのまちの良い点、悪い点を教えて欲しい。
- ・安心して住めるまちづくりのために参加者の活発な意見が多く出され、その通りにまちが出来たら理想の住環境になることでしょう。早く実現できることを強く望む。
- ・若い人の意見を聞くことも必要と思う。
- ・希望はいろいろあるが、若者が戻って来てくれるまちづくりをお願いしたい。自分の安全はまず自分から。
- ・県や市など言っていないで、もう少し石巻、鹿妻を考えてほしい。できる事から早くしてほしい。
- ・私たちは高齢なので、今日の意見を聞いてこのまま鹿妻に住み続けることができるようなので安心しました。
- ・前回と比べて論点が明確になって話しやすかった。
- ・住むのに良いまちにしてほしい。

●参加してみても●

